

## 会告：第24回認知神経科学会学術集会開催のご案内

学術集会テーマ 「認知機能の発達神経科学と高次脳機能障害学のマリアージュ」

小児から成人また高齢者までの認知機能に関わる臨床と研究について、あらためて討論できる機会を持ちたいと考えております。詳しくはホームページ

<https://ywebsys.net/cns2019/>をご参照ください。

多くのおみなさまのご参加をこころからお待ちしております。

第24回認知神経科学会学術集会会長 加我牧子  
副会長 稲垣真澄

### 開催概要

1. 会期 2019年7月13日（土）～14日（日）
2. 会場 日本教育会館  
（東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 電話 03-3230-2831, <http://www.jec.or.jp/>）
3. 学術集会運営事務局  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部内  
〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1  
ファクス：042-346-2158 電話：042-346-2157  
メール： [cns2019-gakkai@umin.ac.jp](mailto:cns2019-gakkai@umin.ac.jp)

### 企画プログラム

- ◇ **招待講演** 演題名 社会脳の発達と可塑性  
演者 千住 淳 先生  
ロンドン大学 バークベックカレッジ脳・認知発達研究センター
- ◇ **特別講演** 演題名 脳を診る：並列的視覚情報処理の基礎と疾患への応用  
演者 飛松 省三 先生  
九州大学大学院医学研究院脳神経病研究施設臨床神経生理学教室
- ◇ **特別講演** 演題名 認知症の脳機能障害と画像診断学の進歩  
演者 松田 博史 先生  
国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター
- ◇ **教育講演** 演題名 感情を生み出す脳と身体 of 相互作用  
演者 梅田 聡 先生  
慶應義塾大学文学部心理学研究室
- ◇ **教育講演** 演題名 日常診療のなかで失語を診る意味  
演者 本村 暁 先生  
行橋記念病院神経内科

◇ **教育講演** 演題名 mTOR 系神経伝達と知的機能の関連

演者 水口 雅 先生

東京大学大学院 医学系研究科国際保健学専攻 発達医科学分野

◇ **会長講演** 演題名 小児聴覚失認の臨床

演者 加我 牧子

東京都立東部療育センター 小児神経科

◇ **シンポジウム**

「環境が変える・環境で変わる発達障害の認知機能：ミクロからマクロのエビデンス」

演題 神経細胞移動の障害が超早産児の認知機能低下に関与する可能性

演者 久保 健一郎 先生

慶応義塾大学医学部 解剖学教室

演題 超低出生体重児にみられる発達障害の認知機能の臨床像

演者 高橋 立子 先生

五十嵐小児科 仙台赤十字病院総合周産期母子医療センター新生児科

演題 ロボット介入がもたらす自閉スペクトラム症の認知・行動変化

演者 熊崎 博一 先生

金沢大学子どものこころの発達研究センター

演題 発達障害児と保護者に対するサマートリートメントの多面的有効性

演者 山下 裕史朗 先生

久留米大学医学部小児科

◇ **一般演題**

演題登録は、学術集会のホームページよりの登録にて募集します。

- 発表形式は口演のみとなります。ご了承ください。
- 演題募集期間 2019年1月11日～2019年3月31日
- 一般演題の発表の筆頭者は認知神経科学会の会員に限ります。応募にあたり、認知神経科学会に入会申請をお願いします。入会手続きについては認知神経科学会ホームページ <https://plaza.umin.ac.jp/~scn/nyukai.html> を御覧ください。
- 演題登録ホームページ <https://ywebsys.net/cns2019/> を通じて、演題名（全角100文字まで）、抄録本文（全角400文字まで）、登録可能な著者人数10名まで、最大所属施設数10施設まで、でお申し込みいただきます。

なお、学会発表時の利益相反(COI)の開示について、当学会では第18回学術集会より演題発表時に利益相反(COI)の開示をすることが必須となっております。

演題の採否は会長にご一任ください。採否は4月下旬以降できるだけ早くお知らせします。

みなさまのご協力を得て有意義な学術集会としたいと考えております。よろしくおねが  
いいたします。

2018年12月10日